

| 科目名<br>Course Name  |                    | 開講年次                            | 開講学期 | 曜日・時限                    |
|---|--------------------|---------------------------------|------|--------------------------|
| 自主創造の基礎 2<br>self-independence and creativity 2   |                    | 1年                              | 後期   | 別途、時間割参照                 |
| 単位数   | 授業の形態              | 授業の性格                           |      | 履修上の制限                   |
| 2単位   | 講義                 | 選択                              | ( )  | 日本大学への編入を希望する学生のための科目です。 |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目  |                    |                                 |      |                          |
| 特になし  |                    |                                 |      |                          |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目  |                    |                                 |      |                          |
| 特になし  |                    |                                 |      |                          |
| 担当者に関する情報   |                    |                                 |      |                          |
| 氏名  | 研究室の場所             | オフィスアワー                         |      | 電話番号・メールアドレス             |
| 小林大輔  | 講義棟 1F             | 火曜～金曜 9:00～18:00 (授業及び会議の時間を除く) |      | 授業中に指示します                |
| 授業の概要   |                    |                                 |      |                          |
| 「自主創造の基礎 2」では、「自主創造の基礎 1」で培った主体性やコミュニケーション力等を踏まえ、社会福祉学への理解と関心を深めることを目的とする。  |                    |                                 |      |                          |
| 授業の目標   |                    |                                 |      |                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自主創造型パーソン」の資質を身につけることができる。</li> <li>・学ぶことの大切さ、社会の中における自己の役割などについて説明できるようにする。</li> </ul>  |                    |                                 |      |                          |
| 授業の方法   |                    |                                 |      |                          |
| グループワークやチームワークなど主体的に学修する授業とする。  |                    |                                 |      |                          |
| 学習の成果 (学習成果)  |                    |                                 |      |                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク等により社会福祉学について多角的な視点をもつことができる。</li> <li>・社会福祉学以外の関連学問領域を理解することで横断的な視点をもつことができる。</li> <li>・多様な文化、価値観を知りチームワークをすることができる。</li> </ul> |                    |                                 |      |                          |
| 授業のスケジュールと内容  |                    |                                 |      |                          |
| 第1回目  | ガイダンス              |                                 |      |                          |
| 第2回目  | 社会福祉学の視点を考える 1     |                                 |      |                          |
| 第3回目  | 社会福祉学の視点を考える 2     |                                 |      |                          |
| 第4回目  | 社会福祉学の視点を考える 3     |                                 |      |                          |
| 第5回目  | ワールド・カフェ (N-M I X) |                                 |      |                          |
| 第6回目  | ワールド・カフェ (N-M I X) |                                 |      |                          |

|             |  |   |
|-------------|--|---|
| 第7回目        | 社会福祉学の視点から社会的課題を調べる 1  |   |
| 第8回目        | 社会福祉学の視点から社会的課題を調べる 2  |   |
| 第9回目        | 社会福祉学の視点から社会的課題を調べる 3  |   |
| 第10回目       | グループワークでの議論・報告 1   |   |
| 第11回目       | グループワークでの議論・報告 2   |   |
| 第12回目       | キャリアパス教育 1 キャリア形成について考える   |   |
| 第13回目       | キャリアパス教育 2 自分のキャリア形成について考える  |   |
| 第14回目       | プレゼンテーション 1  |   |
| 第15回目       | プレゼンテーション 2  |   |
| 事前・事後学習     | 各授業計画に応じて事前学習と事後学修（復習）を行うこと。グループワークの課題にかかわる情報収集・資料を調べて授業に臨む。また、必ず復習をして次回授業につなげる。 |   |
| 成績評価の方法と基準  |  |   |
| 評価の領域       | 割合   | 評価の基準   |
| 授業参加態度      | 30%  | 最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。        |
| レポート        | 70%  | 日本大学で学び研究することの意義と方法について整理し、プレゼンテーションを作成する。満点＝要点をまとめられているか。提出期限が守られているか。締め切りを過ぎたら減点する。 |
| 調査報告書       |  |   |
| 小テスト        |  |   |
| 試験          |  |   |
| 発表内容（態度含む）  |  |   |
| その他         |  |   |
| 教科書と参考図書    |  |   |
| プリントを配布する。  |  |   |
| 履修上の留意点・ルール |  |   |
| 私語は慎むこと。    |  |   |